

学校の課題

生徒の実態

思考

Aに比べBの正答率
が低い

考えや意見を文章
化する力が弱い

自分の考えをまとめ
文章にするのが苦手

関数分野を苦手としている
生徒が多く(無解答率が高い)

数B
説明する"という数値(低)

自分の考えを説明することが
できない生徒が多い

理由や想像して
書くことが苦手

図形分野を苦手としている
生徒も多い(無解答率が高い)

表現

話し合いが
苦手

数学は好き!!

適切な言葉が
選んで話せない

友達に伝えることが
苦手

主体的な学習
が苦手

自分の考えに伝える
活動ができない生徒が多い

話し合いをまとめたり
決めたりするのが苦手

活用

資料の活用等
読解力が不足

授業改善

① 主体的な活動(少)

話し合いの場面(少)

話し合いのルールが
徹底されていない

② 数学的思考の場面(少)

授業の入り道りに
課題

数B
資料活用・表現(低)

交流する内容・課題
が生徒のいけあそものか!

課題をまとめると...

・ 思考、表現、活用の力心弱い

・ 授業改善の必要性がある → 生徒の力を伸ばしていない。

研究主題 思考力・判断力・表現力を高める授業づくり

研究教科 小学校:国語・算数 中学校:全教科

目指す子供の姿	目指す授業像
<ul style="list-style-type: none"> ・根拠にもどついた自分の考えがもてる生徒 ・考えを交流し合い、深め合える生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いながら、思考力・表現力を高める授業

研究の重点(柱) 2つ~3つ

A 授業改善

B 集団づくり

C

A: 授業改善の視点(3つ程度)

- ① 課題設定
- ② 言語活動
- ③ 振り返り

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

- 2番
- ・ 学び合う形態の工夫
 - ・ 個人思考から集団での学び合い
 - ・ ねらいに迫まる発表方法の工夫
 - ・ 発表をつなぐ教師のコーディネート

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

- 3番
- ・ 課題に浴ったまとめ

月	内 容		
4月	研究方針の 提案	目指す授業像の 共通理解	学力調査問題の 出題傾向の把握
5月	模擬授業	講師招聘	学力向上プラン の策定
6月	研究授業		学力調査の 自校採点
7月		授業交流	学力調査の 結果分析
8月	校内研修会		
9月			学力向上プラン の見直し
10月	模擬授業		
11月	要請訪問	授業交流	
12月		検証	
1月	模擬授業		
2月	研究授業	授業交流	次年度の 計画
3月			